

貴自治体名 瀬戸市懇談日時 10月 25日(金) 午前 10 時 30分～ 11時 30 分懇談会場 104・105 会議室 ※会場が確定している場合はご記入ください。**2013年自治体キャラバン請願・陳情項目についてのアンケート****【1】1. 地域主権改革(経営課)**

- ① 県条例(政省令)を下回る基準の策定を予定しているものはありますか。  
 (○) ない  ( ) ある →具体的には ( )
- ② 現行基準が政省令(県条例)を上回っている基準はどうしますか。  
 (○) 現行どおりとする  ( ) 政省令(県条例)に合わせる  
 ( ) その他 →具体的には ( )

**2. 地方税滞納整理機構(税務課)**

- ① 滞納者の件数( 7,290)件
- ② 滞納者のうち地方税法第15条(納税緩和措置)の適用について(2012年度)
- 1) 徴収の猶予について 申請件数( 2 )件 許可件数( 0 )件
  - 2) 換価の猶予の適用件数( 1 )件
  - 3) 滞納処分の停止の適用件数( 378 )件
- ③ 機構に引き継いだ件数(2013年4月1日現在)( 102 )件 ※平成 25 年度現在引継件数
- ④ 機構に引き継ぎをする基準

原則として、個人住民税を始めとした市税の滞納額が 50 万円以上であり、かつ徴収困難と認められる者及びその同一世帯者で滞納がある者

- ⑤ 少額でも滞りなく分納している納税者も機構に引き継ぐか  (○) 引き継ぐ  ( ) 引き継がない

**【2】1. 生活保護(社会福祉課)**

- ① 生活保護の申請件数とその保護件数について
- 2011年度相談件数 ( 456 )件、申請件数 ( 105 )件、そのうち保護開始件数 ( 101 )件  
 2012年度相談件数 ( 360 )件、申請件数 ( 87 )件、そのうち保護開始件数 ( 78 )件
- ② 2013年4月1日時点の受給世帯数と人数 ( 439 )世帯 ( 625 )人

※以下は市のみお答えください

- ③ 生活保護担当職員(ケースワーカー)について
- 2011年4月1日現在 正規職員 ( 6 )人 → 生保担当の平均在任年数 ( 1 )年( 0 )カ月  
 非正規職員( 0 )人
- 2012年4月1日現在 正規職員 ( 6 )人 → 生保担当の平均在任年数 ( 1 )年( 6 )カ月  
 非正規職員( 0 )人
- 2013年4月1日現在 正規職員 ( 6 )人 → 生保担当の平均在任年数 ( 1 )年( 3 )カ月  
 非正規職員( 0 )人
- ④ 1職員(ケースワーカー)当たりの担当受給者数
- 2011年4月1日現在 ( 69 )世帯 ( 99 )人  
 2012年4月1日現在 ( 75 )世帯 ( 109 )人  
 2013年4月1日現在 ( 73 )世帯 ( 104 )人
- ⑤ 生活保護窓口等への警察官OBの配置について
- 警察官OBの配置ありますか  ( )ある  (○)ない
- 「ある」場合 配置している人数( )人 ※今年度の人数をご記入ください  
 配置を開始した年月( )年( )月  
 その職員が担当している業務( )
- 「ない」場合 今後の計画は (○)ない  ( )ある  ( )検討中  
 計画が「ある」場合の配置予定時期と人数( )年 ( )月( )人

**2. 介護保険及び高齢者福祉施策(高齢者福祉課)**

- ① 保険料の市町村独自の減免措置がありますか。

- ( )ない (○)ある→実施年月( 年 月)2012年度実績( 5 )件(60,700)円
- ②利用料の市町村独自の減免措置がありますか。  
( )ない ( )ある→実施年月( 年 月)2012年度実績( )件( )円
- ③特別養護老人ホームの待機者は、何人ですか。 ( 144 )人(平成23年 4月現在)
- ④介護給付費準備基金について。  
2011年度末の残高( 331,749 )千円  
2012年度末の残高( 413,229 )千円 ※決算前の場合は見込み額を記入
- ⑤地域包括支援センター設置数( 7 )箇所 直営( 0 )箇所、委託( 7 )箇所  
職員配置人数( 23 )人 正職員( 21 )人、非正規職員( 2 )人
- ⑥住宅改修の受領委任払い制度を実施していますか。  
(○)実施している → 実施年月日(平成23年 9月 1日) 2012年度実績( 358 )件  
( )検討中である ( )実施の予定がない
- ⑦福祉用具の受領委任払い制度を実施していますか。  
(○)実施している → 実施年月日(平成23年 9月 1日) 2012年度実績( 486 )件  
( )検討中である ( )実施の予定がない
- ⑧高額介護サービス費の受領委任払い制度を実施していますか。  
( )実施している → 実施年月日( 年 月 日) 2012年度実績( )件  
( )検討中である (○)実施の予定がない
- ⑨介護保険支給限度基準額超過者の人数(不明)人( 年 月 日現在)。
- ⑩配食サービスについて、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

配食方式	実施の有無	(○)実施している ( )していない ( )検討中である
	実施回数(週○回昼・夕などと記入)	週6日・回 昼食または夕食
	1日平均利用者数(2012年度)	総延べ食事数(43,625)食÷年間配食日数(312)日 =1日当たり平均(139)食
	1食あたりの助成額	150円
	1食あたりの利用者負担額	350円～650円
会食方式	実施の有無	( )実施している (○)していない ( )検討中である
	実施回数(週○回昼・夕などと記入)	
	月平均利用者数(2012年度)	
	1食あたりの助成額	
	1食あたりの利用者負担額	

- ⑪独居・高齢者世帯へのゴミ出し援助について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

実施の有無	(○)実施している ( )していない ( )検討中である
対象事業の名称	高齢者、独居、ごみを出すことに支障がある方、(要支援もしくは要介護)
対象者の要件	
1カ月平均利用者実数(2012年度)	申請に基づくもの(190人)臨時的なもの(50人)

- ⑫住宅改修の独自の助成制度について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

助成制度の有無	( )助成制度がある (○)助成制度はない ( )検討中である		
制度内容	( )介護保険に上乗せして実施している		
	上乗せの助成額		
	利用者実数(2012年度)		
	( )介護保険利用者以外の助成制度がある		
	対象者と、その要件		
助成額		利用者実数(2012年度)	

- ⑬ひとり暮らし、高齢ふたり世帯などへの安否確認、見守り、買い物などの生活支援の施策を実施していますか。ある場合は、支援内容をご記入ください。

1. 支援施策

(1)緊急通報装置設置事業及び緊急通報受信センター事業

緊急時の支援、安否確認の必要な方の居宅に緊急通報装置を設置します。また、緊急受信センターにより24時間体制で緊急通報の受信を行い、家族へ連絡する体制を整備しております。

対象者：70歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者世帯に属する方

利用者負担：なし（通信料は負担いただきます。）

(2)日常生活用具給付事業

防火の配慮が必要な方に安全な日常生活を維持するために必要な電磁調理器、火災警報機、自動消火器を給付しております。

対象者：70歳以上のひとり暮らし高齢者のうち市民税非課税の方か、70歳以上の方と介護4及び介護5の方とのふたり世帯で市民税非課税世帯に属する方

利用者負担：なし

(3)配食サービス事業

在宅生活を支援するため、食事を手渡しですることにより利用者の安否確認を行うとともに栄養のバランスのとれた食事を提供しております。

対象者：65歳以上のひとり暮らしの高齢者か高齢者世帯に属する方のうち安否確認が必要な方

利用者負担：あり

助成金：1食150円

利用限度：月曜日から土曜日の昼食と夕食のうち、週6食

(4)軽度生活支援事業

自立支援を目的とした軽易な日常生活の援助を行っております。

対象者：65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯のうち、介護認定審査会で「自立」と認定された方又は市が自立と判断した方

利用者負担：1時間160円

利用時間：週1日、90分を限度

支援内容：住居等の清掃及び整理整頓、衣類の洗濯、一般的な調理・配下膳及び買い物

(5)ふれあいネットワーク訪問事業

65歳以上の一人暮らし高齢者及び65歳以上の高齢者で構成されている世帯並びに65歳以上の高齢者を含む世帯のうち、見守りが必要な方で本人が同意された方を民生委員等が安否確認等の見守りを日々の活動のなかで行っております。

⑭高齢者や障がい者への、外出支援のための施策についてお尋ねします。

1)巡回バス・福祉バスなどを実施していますか。

(○)実施している

→ 利用料:高齢者< 歳以上>( )円、障がい者( )円、一般( )円  
その他の外出支援策(福祉保健センター内の老人福祉センター利用時の送迎 )

( )実施していない

2)タクシー代を助成する制度がありますか。ある場合は、助成内容をご記入ください。

該当なし

⑮宅老所・街角サロンなど的高齢者のたまり場事業に助成金を出していますか。(社会福祉協議会の助成は含めないでください)

( )助成している →1施設当たり助成額 月額( )円 または 年額( )円  
または 1回限り( )円→ 助成カ所数( )カ所

( )検討中である

(○)助成の予定がない

⑯介護認定者の障がい者控除の認定について

1)認定書の発行枚数(2012年度実績)は ( 43 )枚

2)認定書は( )毎年発行している

( ○ )1回発行すれば翌年以降も使える

3)介護認定者に障がい者控除の申請書または認定書を送付していますか。

( )申請書を送付している → 2012年度( )件

( )認定書を送付している → 2012年度( )件

( ○ )送付していない。

4)認定書の発行の条件

( )介護認定者のうち、要支援2以上は基本的に発行している

( )介護認定者のうち、要介護1以上は基本的に発行している

( )医師の証明書(意見書)の提出の上、判断している

( ○ )介護認定時の認定調査票または主治医の意見書で判断している

( )次のような方法で判断している( )

⑰介護保険サービス利用人数について ( 4,085 )人(平成25年 6月 現在)

⑱介護保険支給限度基準額超過者の人数について ( 不明 )人( 年 月 現在)

### 3. 高齢者医療など(国保年金課)

①高額医療・高額介護合算療養費の支給について、該当者に個別に通知等していますか。

1)後期高齢者の場合

( ○ )申請書を送付している ( ○ )ハガキ等で通知をしている ( )通知していない

2)国民健康保険の場合

( ○ )申請書を送付している ( )ハガキ等で通知をしている ( )通知していない

②後期高齢者福祉医療費給付(福祉給付金)制度について、愛知県が補助基準から外した「ひとり暮らしの非課税者」を引き続き対象にしていますか。

( )対象にしている ( )縮小して対象にしている ( ○ )県基準どおりにした

③上記②以外に愛知県の補助基準を上回る内容を実施している場合はその内容をご記入ください。

戦傷病者の認定に際し、所得制限を設けていない。

④2013年8月1日現在の対象者

後期高齢者医療受給者 ( 15,557 )人

後期高齢者福祉医療費給付(福祉給付金)制度対象者 ( 2,565 )人

内 ひとり暮らし非課税者( 0 )人

└ その他の県基準を上回る市町村独自対象者( 0 )人

⑤後期高齢者医療について

被保険者数( 15,557 )人 保険料滞納者数( 258 )人

短期保険証発行人数( 12 )人

差し押さえ(2012年度)件数( 0 )件、金額( 0 )円

### 4. 子育て支援策 ※2013年9月1日現在をご記入ください。

①子どもの医療費助成制度を、愛知県の基準を上回る内容を実施している場合はその内容をご記入ください。(対象年齢、対象者、入院・入院外の区分、現物給付・償還払の区分、所得制限など)(国保年金課)

小学校1年生(6歳に達した後の最初の4月1日)から中学校3年生(15歳に達する日の属する年度の末日)までの瀬戸市に住民票のある子どもに対し、入院外を現物給付で支給。ただし、県外受診分、療養費等は償還払い。所得制限はなし。

②就学援助(学校教育課)

1)保護者への広報はどのようにしていますか。

( ○ )入学説明会 ( ○ )入学式 ( ○ )始業式 ( ○ )ホームページ ( ○ )市広報

( )その他( )

2)就学援助の認定対象基準をご記入ください。

生活保護基準額の( 1.25 )倍

そのほか  
 児童扶養手当受給者  
 市民税が非課税となっている方  
 国民健康保険が減免されている方 等

- 3) 就学援助の対象となる認定基準額または所得基準額(年額)をご記入ください。  
 ・2人家族(母30歳代、子ども小学生の場合) … ( 185万 )円  
 ・4人家族(父母は30歳代、子ども小学生と4歳児の場合) … ( 300万 )円  
 4) 申請書の受付先 ( )市町村窓口 ( )学校 (○)市町村窓口と学校のどちらでも可  
 5) 民生委員の証明は必要ですか ( )必要である (○)必要ない  
 6) 就学援助受給者数・予算額をご記入ください。

	2012年度	2013年度
受給者数	1,186 人	1,190 人
受給割合	10.9 %	11.1 %
支給額	79,810 円	84,073 円

※受給割合は、小数点第1位までご記入ください。  
 ※2013年度の支給額は見込み額をご記入ください。

- 7) 就学援助家庭の給食費の支払い方法 ( )現物支給 (○)償還払い ( )その他  
 8) 就学援助の項目について  
 (○)学用品費 ( )体育実技用具費 (○)入学準備金 ( )通学用品費 (○)通学費  
 (○)修学旅行費 ( )クラブ活動費 ( )生徒会費 ( )PTA会費 ( )給食費  
 (○)校外活動費(宿泊を伴わないもの) (○)校外活動費(宿泊を伴うもの) (○)医療費  
 ( )日本スポーツ振興センター掛け金 ( )めがね・コンタクトレンズ ( )卒業記念品  
 ( )その他( )

③学校給食について(2013年度)(学校教育課)

1) 給食の実施状況

	全校数	自校方式実施数		センター方式実施数		1食当たりの給食費
		直営	委託	直営	委託	
小学校	20校	8校	11校	0校	1校	240円
中学校	8校	0校	0校	0校	8校	280円
特別支援学校	1校	1校	0校	0校	0校	240円

2) 給食費への自治体独自の補助などの施策 (例:半額補助、第2子以降無料など)

特に実施していない。

④放射線被ばくから子どもを守る施策について

1) 学校給食の食材の安全、健康検査など子どもを被ばくから守る自治体独自の施策

産地確認を実施し、全品測定を実施している団体からも食材を購入している。  
 必要に応じて、安全証明を徴収している。

- 2) 食材用放射線測定器を自治体で所有していますか。また購入予定はありますか。  
 ( )すでに購入している ( )購入の予定 (○)購入の予定はない  
 3) 自治体独自で食材の放射線量測定の検出限界値(基準値)などの設定をしていますか。  
 ( )設定している (○)設定していない

⑤女性、特に妊産婦や高齢者などに配慮した避難所づくりはどうなっていますか。

平成25年度の防災会議において、地域防災計画を修正し、高齢者及び女性に対して配慮することを追加しております。具体的には、空調や洋式トイレ等の施設整備や女性専用干し場、更衣室、授乳室の設置等女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努めるものとなりました。

⑥児童虐待の現状と対応並びに早期発見、未然防止対策について(2012年度)(こども家庭課)

- 1) 件数(60)件 対応職員(5)人(保育士3人・退職教諭2人)  
 2) 現状に対する課題  
 関係機関での組織的な連携の強化・維持  
 3) 早期発見、未然防止に関する実施施策(児童虐待防止対策緊急強化事業等)について  
 ア 緊急強化事業は特になし  
 イ 若年妊婦など母子手帳交付時から関係機関で情報共有し、相談・見守り体制をとっている。  
 ウ 赤ちゃん訪問事業で民生児童委員と看護師・保健師と一緒に訪問し、居宅内で母子と対話

することで、地域とのつながりを作り、連携をとっている。

## 5. 国民健康保険（国保年金課）

### ①国保保険料(税)(医療給付費分と後期高齢者支援金分の合計)について

	区分	定義	2011年度	2012年度	2013年度
保 険 料 ・ 税 率	所得割	旧但し書き額	× ( 8.65 ) %	× ( 8.28 ) %	× ( 8.28 ) %
	資産割	固定資産税額	廃止	廃止	廃止
	均等割	加入者1人につき	30,817円	29,390円	29,950円
	平等割	1世帯につき	34,208円	32,539円	32,564円
1人当たり調定額(平均保険料)			87,895円	84,440円	85,305円
一般会計からの1人当たり法定外繰入額			271円	2,414円	3,036円

※2013年度の「一般会計からの1人当たり法定外繰入額」は、予算額をご記入ください。

### ②保険料(税)の市町村独自の軽減・減免制度

1)市町村独自の低所得者減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

実施していない

2)保険料(税)の収入減を理由にした減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

世帯主又はその世帯に属する被保険者の廃業、失業等により当該年中における総所得金額等の見込額が、前年中における総所得金額等の2分の1以下に減少すると認められ、前年中における総所得金額等が300万円以下であること。

### ③資格証明書 ※2013年8月1日現在でご記入ください。

1)資格証明書は交付していますか。( )交付していない (○)交付している→( 4 )世帯

2)資格証明書を交付している場合、交付に当たっては、面接を実施していますか。

(○)必ず面談している ( )面談がなくても交付する場合がある ( )その他

3)資格証明書交付世帯のうち、高校生世代以下の子どものいる世帯数・子ども数

世帯数( 0 )世帯 内、乳幼児( 0 )人、小学生( 0 )人、中学生( 0 )人、高校生世代( 0 )人

上記のうち、6カ月以上の短期保険証を交付していない資格証明書未解消世帯数・子ども数

世帯数( 0 )世帯 内、乳幼児( 0 )人、小学生( 0 )人、中学生( 0 )人、高校生世代( 0 )人

4)資格証明書の交付除外で配慮している点がありますか。

(○)国の基準どおり実施している

( )独自に配慮し、次の場合は交付対象から除外している

( )高校生世代以下の子どものいる世帯

(次頁に続く)

( )障がい者・母子家庭等医療費助成制度の対象世帯

( )病弱者のいる世帯

( )次の場合は、交付対象から除外している。

### ④短期保険証 ※2013年8月1日現在でご記入ください。

1)有効期間別(交付時から有効期限が切れるまで)の交付数

※資格証明書交付世帯の高校生世代以下の短期保険証は除く

・1カ月以内( 389 )人 ・2カ月( 198 )人 ・3カ月( 172 )人 ・4カ月( 60 )人

・5カ月( 102 )人 ・6カ月( 224 )人 ・1年( 332 )人 ・その他( 33 )人

2)短期保険証発行の基準をご記入ください。

誓約した分割納付の履行状況、現年保険料額に対する1年間の納付額の割合など。

3)短期保険証について、有効期限以外に特別な表示をしていますか。

(  ) 通常の保険証と同じ

(  ) 通常の保険証と区分している → 表記している文字・マークなど( )

⑤ 保険料(税)滞納者への差押えについて(2012年度)

- 1) 差し押さえの基準(接触・折衝に応じない場合や分納額が少額で完納の見通しが立たないなど) ( )
- 2) 分納者への対応(分納が履行されていれば差押えはしていません。) ( )
- 3) 予告通知書の発行( 2 )件
- 4) 差押え件数 不動産( )件 預貯金( 1 )件 生命保険( )件(内学資保険( )件) その他( )件( )
- 5) 競売などによる現金化 ( 1 )件 ( 193,745 )円

⑥ 国保加入者だが、保険証・短期保険証・資格証明書が届いていない人数をご記入ください。

※2013年8月1日現在でご記入ください。

- 1) 交付した保険証・短期保険証の留め置き人数 ( )人
- 2) 保険証・短期保険証・資格証明書のいずれも交付していない未交付人数 ( )人
- 3) その他

① 保険証を郵送したが配達不能で返却された、② 保険証更新の通知をしたが応答がない、という理由で新証交付が不能となっている者。  
(資格を喪失したにも拘らず、手続きを行っていない者が含まれる。)  
⇒ 684人(平成24年7月31日時点)

⑦ 国民健康保険法第44条の一部負担減免制度について

- 1) 一部負担減免制度を実施していますか。  
(  ) 実施している ( ) 検討中である ( ) 実施の予定がない
- 2) ある場合、生活保護基準を目安にした減免基準を設けていますか。  
(  ) 設けている ( ) 検討中である ( ) 設けていない
- 3) 2012年度の減免件数 ( 2 )件 減免金額 ( 299,616 )円

⑧ 国保運営協議会について

- 1) 運営協議会の公開 (  ) 公開していない ( ) 公開している
- 2) 運営協議会委員の公募枠 (  ) ない ( ) ある → ( )人

## 6. 障がい者施策(社会福祉課)

① 訪問系各サービスの支給状況について(8月時点)

最多支給時間は8月の1カ月。平均時間は1カ月あたりでご記入ください。

	支給者数(人)	最多支給時間数(時間)	平均支給時間数(時間)
居宅介護	180	94	16.45
重度訪問介護	0	0	0
行動援護	18	50	19.94
同行援護	28	25	15.53

② 地域生活支援事業の移動支援

支給者数( 131 )人 最多支給時間数( 30 )時間 平均支給時間数( 13.93 )時間

③ 訪問系サービスの支給基準 (  ) あり ( ) なし

④ 計画相談支援の8月利用実績 ( 7 )人

⑤ 介護保険サービスと障害福祉サービスの併給について

- 1) 併給をしている人の人数( )人( 年 月 日現在) ※データなし
- 2) 上記併給者のうち、介護保険の被保険者が介護保険サービスの支給限度額の制約から障害福祉サービスを上乘せしている者の人数(生活保護受給者で65歳未満の者は除く)  
( )人( 年 月 日現在)
- 3) 2)のように介護保険の被保険者が障害福祉サービスを上乘せ利用する場合の条件  
( ) 介護保険の被保険者である障害者が介護保険サービスの支給限度額の制約から介護保険サービスのみで、必要なサービスを確保できない状況であれば、障害福祉サービスの上乘せが可能。  
(  ) 上記に加え、何らかの条件を設けている。  
※どのような条件があるか、できるだけ詳しく記入してください。  
(例)・障害者手帳所持者(肢体不自由の身体障害者手帳1級所持者に限る)

- ・介護保険の要介護度が要介護5の者(ただし区分変更しても要介護5にならない場合は、要介護4以下でも検討可能)
- ・介護保険サービスの約半分以上を訪問介護が占めていること 等

要介護4以上であること  
障害認定審査会の意見を聴き必要性が認められること

4) 併給についての広報について

( )している (○)していない

→「している」と回答した場合、どのように広報していますか。

- ( )市町村の広報 ( )ホームページ  
( )介護保険関係でのお知らせ等 ( )障害福祉関係でのお知らせ等  
( )その他→( )

5) 併給している障害福祉サービスの居宅介護について

平均何時間支給していますか( )時間 ※データなし

⑥ 2013年度の障害者総合支援法(旧障害者自立支援法)の予算のうちの下記の予算額

- 1) 自立支援給付 ( 1,086,623 千円)  
うち介護給付 ( 695,065 千円) 訓練等給付 ( 219,998 千円)  
2) 地域生活支援事業 ( 128,034 千円)

⑦ 「重度訪問介護等の利用促進に係る市町村支援事業」での助成について

※政令指定都市と中核市以外の市町村のみお答えください

( )助成を受けている (○)助成を受けていない。

→「助成を受けている」場合、助成を受けることでの変化や変更点がありましたら教えてください。

⑧ 障害者手帳所持者について

- 1) 身体障害者( 4,770 )人 (平成25年 8月 1日現在)  
2) 知的障害者( 805 )人 (平成25年 8月 1日現在)  
3) 精神障害者( 625 )人 (平成25年 8月 1日現在)

⑨ 市町村にある患者会、障害当事者の団体、家族会について

- 1) 身体障害者( 1 )団体 (平成25年 4月 1日現在)  
2) 知的障害者( 1 )団体 (平成25年 4月 1日現在)  
3) 精神障害者( 1 )団体 (平成25年 4月 1日現在)

7. 健診事業 ※2013年度の実施状況をご記入ください。(健康課)

① 実施方式・各方式での自己負担金と毎年受診の可否

健診(検診)の種類	実施方式	個別方式		集団方式	
		自己負担	毎年受診	自己負担	毎年受診
特定健診	個別・集団	無料	可・不可		可・不可
がん検診	胃がん	1,000円 2,500円	可・不可		可・不可
	大腸がん	200円 400円	可・不可		可・不可
	肺がん	400円 700円	可・不可	無料	可・不可
	子宮がん	700円 1,400円	可・不可		可・不可
	乳がん	超音波		可・不可	
マンモグラフィー		1,600円 1,600円	可・不可		可・不可



前立腺がん	個別・集団	800円 800円	可・不可		可・不可
歯周疾患	個別・集団	500円 500円	可・不可	500円 500円	可・不可

\*1 上段:瀬戸市国保加入者・70歳以上 下段:国保以外の保険加入者

②乳がん検診(マンモグラフィ)時の視触診について

(○)実施している ( )実施していない

③40歳未満の住民を対象にした特定健診に準じた一般健康診査について

(○)実施している → 健診内容 ( )特定健診と同じ (○)特定健診とは異なる

( )実施していない

④歯周疾患検診の対象年齢・回数

( )節目年齢に限定せず毎年受けられる ( )40・50・60・70歳の年に受けられる

(○)その他(30・35・40・45・50・55・60・65・70歳 1回/年)

### 8. 任意予防接種の助成 ※助成を実施または予定している自治体のみご記入ください(健康課)

ワクチンの種類	対 象	助成額 (1回)	自己負担 (1回)	助成開始または 開始予定年月
成人用肺炎球菌	接種日時点で市内に住民登録あり、次のいずれかの要件を満たし、過去5年以内に接種を受けてない方。 ① 満70歳以上の方 ② 満60歳以上で、基礎疾患により、免疫が低下しているなど医師が必要と判断した方	3,100 円	5,000 円	H24.4.1～
みずぼうそう		円	円	
おたふくかぜ		円	円	
ロタウイルス		円	円	
B型肝炎ウイルス		円	円	

### 【3】国または愛知県に対して既に意見書・要望書を提出している項目と提出年月日を教えてください。

※2012年9月以降の提出分をご記入ください。

	意見書・要望書の種類	提出年月日
国	①生活保護引き下げに反対する意見書・要望書	年 月 日
	②消費税率引き上げ・増税反対に関する意見書・要望書	年 月 日
	③社会保障と税の一体改革関連法の中止を求める意見書・要望書	年 月 日
	④「最低保障年金制度」の創設を求める意見書・要望書	年 月 日
	⑤国民健康保険への国庫負担の増額などを求める意見書・要望書	年 月 日
	⑥介護保険の改善を求める意見書・要望書	年 月 日
	⑦子どもの医療費無料制度の創設などを求める意見書・要望書	年 月 日
	⑧医師・看護師の確保などを求める意見書・要望書	年 月 日
	⑨障がい者施策に適切な補助などを求める意見書・要望書	年 月 日
	⑩任意予防接種の定期予防接種化を求める意見書・要望書	年 月 日
県	①福祉医療制度存続・拡充に関する意見書・要望書	年 月 日
	②福祉給付金のひとり暮らし非課税者に関する意見書・要望書	年 月 日
	③精神障がい者の医療費助成制度を求める意見書・要望書	年 月 日

### 【4】次の資料(各1部)の添付をお願いします。

①介護保険に関する条例・要綱(昨年と同じ場合は結構です)

- ②アンケート【2】1の⑮の「たまり場助成」の条例・要綱(昨年と同じ場合は結構です)
- ③アンケート【2】1の⑯の「障がい者控除の申請」に関する広報の写し・案内文書
- ④就学援助に関する父母向けの案内文書(昨年と同じ場合は結構です)
- ⑤国保保険料(税)減免事由別の適用件数・金額一覧(2012年度)
- ⑥国保一部負担金の減免に関する条例・要綱 (昨年と同じ場合は結構です)
- ⑦アンケート【3】に関する国または県に提出した意見書・要望書の写し(2012年9月以降の提出分)

☆ご協力ありがとうございました